

電気通信大学 平成17年度シラバス

授業科目名	English F		
英文授業科目名	English F		
開講年度	2005年度	開講年次	2年次
開講学期	4学期	開講コース・課程	昼間コース
授業の方法		単位数	1
科目区分	総合文化科目-言語文化科目-言語文化応用科目Ⅰ		
開講学科・専攻	情報工学科 量子・物質工学科 人間コミュニケーション学科		
担当教官名	網代 敦		
居室	非常勤講師		

公開E-Mail	授業関連Webページ

【主題および達成目標】
<p>(主題) 英文の段落構成を学びながら、英文で簡単なエッセイが書けることを授業の目的にします。段落とは何か、トピックセンテンス(主題文)の提示の仕方、文と文のつながり、実例の与え方、段落と段落のつながりなどを考えていきたいと思ひます。</p> <p>(達成目標) (1)適切なトピックセンテンスが与えられること (2)段落における内容を適切に発展させられること (3)100語から200語程度の英文の段落が書けること 。</p>

【前もって履修しておくべき科目】
なし

【前もって履修しておくことが望ましい科目】
なし

【教科書等】
プリント使用

電気通信大学 平成17年度シラバス

【授業内容とその進め方】

いろいろな内容の英文のパラグラフを資料として、パラグラフに関する練習問題を解きながら、その構成を考えていくことにします。ある主題を提示しそれに関するトピックセンテンスを書く、与えられたパラグラフのトピックセンテンスを指摘する、パラグラフ内の不適切な文を見つけ出す、用例をどのように提示するか検討する、パラグラフ間のつながりを考えるなどを、クラスで行います。授業中に求める作業は多くなります。トピックセンテンスは随時授業中に書いて、提出してもらいます。評価はその提出物と授業最後の試験、出席が中心となります。

【成績評価方法及び評価基準(最低達成基準を含む)】

評価方法：試験 70%

提出物・出席 30%

評価基準：最低達成基準は以下の項目です

- (1)自分の語彙力で、簡単な自己表現ができること
- (2)与えられた課題を全て提出すること
- (3)最低10回以上の出席をしていること

【オフィスアワー：授業相談】

火曜日、12時10分以降。ただし事前にアポイントメントを取ってください。

【学生へのメッセージ】

辞書を丁寧に引くこと。

【その他】